



2020年3月期  
第1四半期 決算補足説明資料

2019年8月14日

株式会社 ライドオンエクスプレスホールディングス  
(証券コード：6082)

# 連結業績推移 – 第1四半期

## 20.3期 1Q業績

元号変更特需により増収。変動費率改善により経常利益も増益。

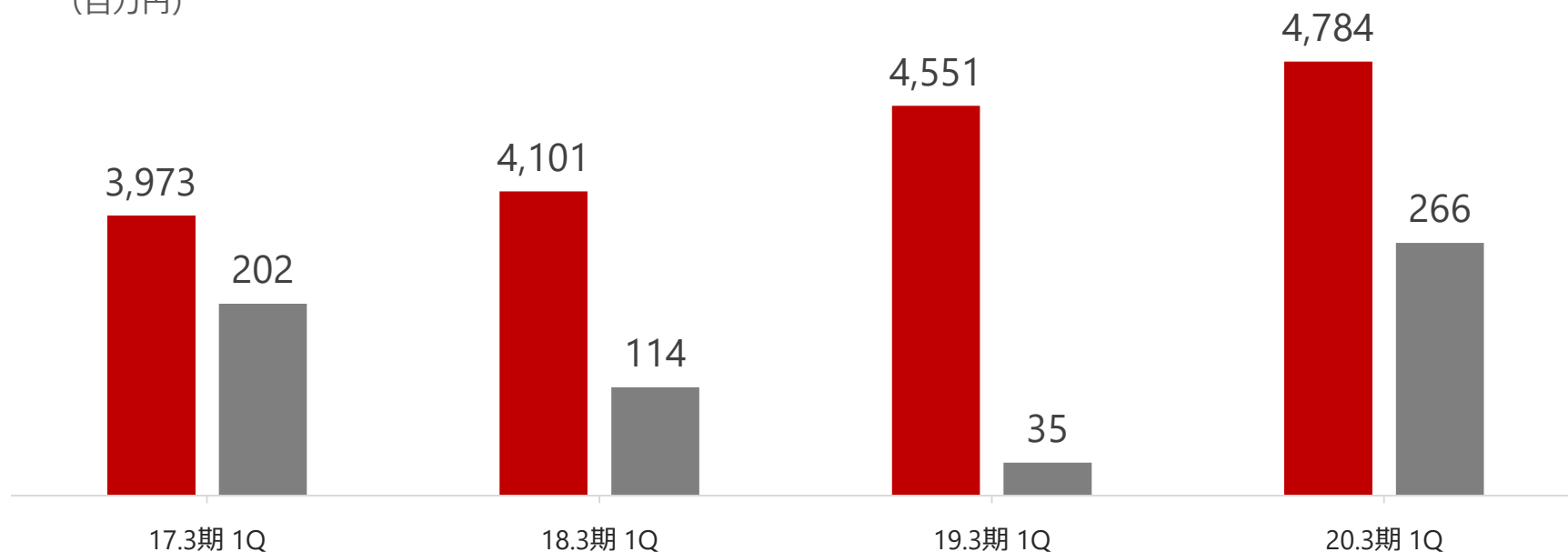
<売上高> 前期比+232百万円、増減率+5.1%

- GW期間内の元号変更や、GWの長期化に伴う注文件数の増加により、期間予測を超えて売上を獲得できたことで増収。

<経常利益> 前期比+231百万円、増減率+657.3%

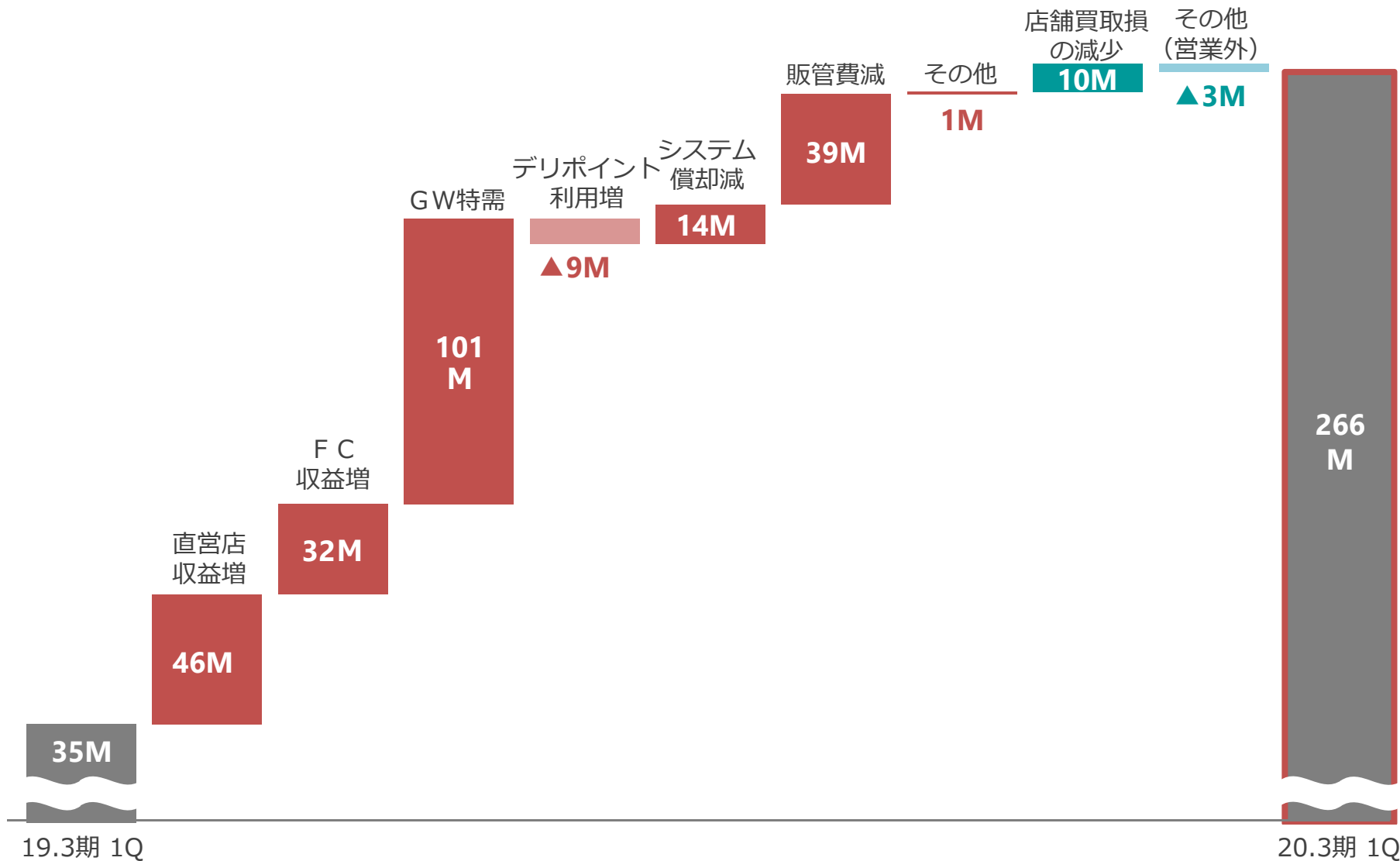
- 売上増に伴う経費圧縮と、2018年10月のメニュー改定による商品構成の変動等により変動費率が改善され、経常利益は増益。

■ 売上高 ■ 経常利益  
(百万円)



# 経常利益の前期比増減の構成 通期累計

2019年特有の、GW期間の長期化と、元号変更による特需が影響大



## 店舗数・拠点数の増減

釜寅の出店促進により、店舗数は3店舗増加

事業形態	ブランド	19.3期末 店舗数	出店	閉店	20.3期 1Q店舗数
宅配事業	銀のさら	359	－	－	359
	釜寅	191	3	－	194
	すし上等！	150	－	－	150
宅配代行業業	ファインダイン	44	－	－	44
合計		744	3	－	747

	19.3期末 拠点数	拠点開設	拠点閉鎖	区分変更	20.3期 1Q拠点数
直営店	104	－	－	△3	101
FC店	265	－	－	3	268
合計	369	－	－	0	369

# 連結B/S 対前期末

借入金の返済等により総資産△288百万円。自己資本比率54.8%（前期末52.8%）

(単位：百万円)	19.3期末	20.3期1Q	前期比	ポイント
流動資産	6,457	6,078	△379	<b>資産 △288百万円</b> ----- 【流動資産】△379百万円 ・ 現金及び預金 △181百万円 ・ 売掛金 △128百万円  【固定資産】+90百万円 ・ 有形固定資産 +42百万円 ・ 無形固定資産 +40百万円
(うち現預金)	3,492	3,311	△181	
有形固定資産	681	723	+42	
無形固定資産	368	409	+40	
投資その他資産	2,398	2,406	+7	
資産合計	9,906	9,617	△288	
流動負債	2,898	2,691	△206	<b>負債 △327百万円</b> ----- 【流動負債】△206百万円 【固定負債】△121百万円 (借入金の約定返済によるもの)
(うち1年内有利子負債)	440	443	+3	
固定負債	1,775	1,653	△121	
(うち1年超有利子負債)	1,276	1,162	△113	
負債合計	4,673	4,345	△327	
株主資本	5,196	5,255	+59	<b>純資産 +39百万円</b> ----- 【株主資本】+59百万円 ・ 四半期純利益 +164百万円 ・ 配当金支払額 △105百万円
純資産合計	5,232	5,272	+39	
負債・純資産合計	9,906	9,617	△288	

## 20.3期 1Qトピックス

- 宅配寿司「銀のさら」人気のキャンペーンサーモン祭を期間限定で開催
  - アトランティックサーモンの最も脂の乗った部位を使用。サーモン1尾から数パーセントしか取れない希少部位「ハラス」を贅沢にカットしています。



- 宅配御膳「釜寅」グランドメニューに新商品の「牛たん釜飯」が登場
  - 「釜寅」のグランドメニューに「牛たん釜飯」が初登場。お肉の増量や、とろろを追加するなど、自分好みにカスタマイズして、お楽しみいただけます。



- 宅配寿司「銀のさら」Amazon Alexaスキル「銀のさら」をリリース
  - 「銀のさら」のお寿司を注文できるAlexaスキルです。公式ホームページの会員で前のご注文履歴があれば、前回の注文と同じ内容を簡単に再注文することができます。



- 宅配御膳「釜寅」ランチメニューを刷新
  - より釜飯を日常的に楽しんでいただく為、ランチ時間にお楽しみいただけるメニューを刷新致しました。味、価格ともにご満足いただける「釜寅」を目指します。



# ディスクレイマー



当資料に記載の内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成したものであり、経営環境の変化等の事由により、予測なしに変更する可能性があります。

また、本資料には、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測ならびにリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報、将来の出来事等があった場合であっても、当社は本資料に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。